



昨年の会場風景

平成22年6月29日(火)
愛知県産業技術研究所 瀬戸窯業技術センター
担当 応用技術室 宮田、光松
電話 0561-21-2116、2117
愛知県産業労働部地域産業課
担当 技術振興・調整グループ 津本、木津
内線 3360、3361
(ダイヤルイン)052-954-6340

せとぐら
瀬戸蔵にて「陶&くらしのデザイン展2010」を開催します
—愛知県産業技術研究所はじめ全国の試験研究機関が出展—

愛知県産業技術研究所はじめ、陶磁器に関係する全国の試験研究機関が取り組んだデザイン開発の成果や試作品を一堂に集めて公開展示する「陶&くらしのデザイン展2010」※¹の本展※²を、7月8日(木)から14日(水)までの7日間、瀬戸蔵(瀬戸市)で開催します。

展示会では、陶磁器を中心とした食器やインテリア用品など約100点を展示します。愛知県産業技術研究所からは、瀬戸窯業技術センターが企業や陶磁器組合の方々と共同開発したりサイクル素地による健康市場向け製品の試作など、最新の成果や試作品を出展します。

また、併催行事として金沢美術工芸大学大学院教授 森 仁史氏※³の講演会が開催され、専門家はもとより一般の方にも楽しんでいただける陶磁器産地ならではのイベントとなっています。

【展示会の概要】

- 1 名称
陶&くらしのデザイン展2010
- 2 会期
平成22年7月8日(木)から7月14日(水)までの7日間
午前10時から午後6時まで(最終日は午後4時まで)
- 3 会場
瀬戸蔵(4階多目的ホール)
〒489-0813 瀬戸市蔵所町1番地の1 TEL 0561-97-1555
- 4 入場料
無料
- 5 出品機関
陶磁器に関係する全国の試験研究機関 11機関
- 6 展示内容

陶磁器を中心としたインテリア・エクステリア用品などの試作品やデザイン提案(開発コンセプトや製品アイデア)など、全国の試験研究機関が独自に、あるいは地域の企業・業界と共同で開発した成果品約100点を展示します。

人と環境にやさしいものづくりや地域ブランドの確立に向けた意識が高まりを見せる中、それぞれの産地が目指すべき技術課題やテーマに沿って開発に取り組んだ成果を展示します。

7 主催

陶&くらしのデザインコンソーシアム※4

8 共催

瀬戸市、瀬戸焼振興協会、瀬戸地域窯業技術協議会
愛知県産業技術研究所瀬戸窯業技術センター

【愛知県産業技術研究所の出展】

- ・瀬戸窯業技術センター

地元の企業及び陶磁器組合の方々とともに、足ツボマットとフットヒーターの試作を行いました。これは経済産業省・地域資源活用型研究開発事業の採択を受け、瀬戸産のリサイクル素地を利用した新たな健康市場向け製品として研究開発を行ったものです(下図参照)。その他、磁器タイルによる岩盤浴ベッドも開発しました。



足ツボマット



フットヒーター

【併催行事】

◎講演会

- (1) テーマ：『工芸からデザインへ ～ジャパニーズ・モダンの挑戦～』
- (2) 講師：金沢美術工芸大学大学院教授 森 仁史氏
- (3) 日時：平成22年7月9日(金)午前9時30分から11時まで
- (4) 会場：瀬戸蔵 4階 第2、第3会議室
- (5) 定員：35名(事前申し込み：先着順)
- (6) 受講料：無料

※講習会の申し込み及び問合せ先

愛知県産業技術研究所 瀬戸窯業技術センター
担当 応用技術室 宮田、光松

Tel : 0561-21-2116、0561-21-2117 FAX : 0561-21-2128

【参考】

※1 陶&くらしのデザイン展について

この展示会は、デザインや技術が人々の生活を潤すとともに、産業の活性化に寄与している姿を実感してもらうことを目的に、昭和39年に陶磁器試験研究機関作品展として発足し、その後、陶&くらしのデザイン展へと名称が変更になりました。今回は通算で47回目の開催となります。

※2 本展と巡回展について

陶&くらしのデザイン展は、本展と巡回展で構成されています。

本展は、その年の最初の展示会であるのに加え、講習会などの併催行事や公的試験研究機関のデザイン関係職員が意見交換を行う協議会が開催される規模の大きなイベントです。本展が瀬戸で開催されるのは5年連続5回目です。

巡回展は、本展開催後に全国を巡回する展示会で、今回は10月に以下の窯業地を巡ります。

○岐阜展：10月16日(土)～10月18日(月) 9:00～17:00 セラミックパーク MINO

○京都展：10月29日(金)～10月31日(日) 10:00～17:00 京都陶磁器会館新館

「くるる五条坂」

※3 講師の^{もり}森^{ひとし}仁史氏について

金沢美術工芸大学大学院教授。早稲田大学大学院博士後期課程修了後、松戸市職員を経て現職。工芸・デザイン史を専門分野とし、昨年刊行された独立行政法人産業技術総合研究所『収蔵品（陶磁器）総目録』において総説を担当。著書に『日本<工芸>の近代』、共著に『近代日本デザイン史』他がある。

※4 陶&くらしのデザインコンソーシアムについて

陶磁器、ガラス、金属、紙などの素材を活用した、くらしに関わる用品のデザインや製造技術に関する情報発信、技術交流を目的に、独立行政法人産業技術総合研究所が中心となって、全国の主な窯業地の試験研究機関や業界団体が、平成17年に組織したコンソーシアム(共同事業体)で、デザイン展の開催や研究発表などを行っています。

・陶&くらしのデザインコンソーシアム事務局

独立行政法人 産業技術総合研究所 中部産学官連携センター

〒463-8560 名古屋市守山区下志段味穴ヶ洞 2266-98

Tel: 052-736-7055 FAX: 052-736-7403

・出品機関

独立行政法人産業技術総合研究所サステナブルマテリアル研究部門

茨城県工業技術センター窯業指導所「匠工房・笠間」

岐阜県セラミックス研究所

土岐市立陶磁器試験場・セラテクノ土岐
瑞浪市窯業技術研究所
愛知県産業技術研究所瀬戸窯業技術センター
三重県工業研究所窯業研究室
福井県工業技術センター
滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場
京都市産業技術研究所工業技術センター
長崎県窯業技術センター